



東日本大震災

NGO 支援活動報告会

見た・聴いた・走った 中部から東北へ



これから私たちができることを一緒に考えましょう！

東日本大震災から早くも十カ月以上が経ちました。名古屋 NGO センター 加盟団体も震災発生後いち早く被災地へ入り、被災者への支援活動を開始しました。その活動は足湯の提供、支援物資の配付、現地住民団体のサポート、放射能汚染地図の作成など多方面にわたります。今回、被災地で活躍する NGO スタッフから、これまでの活動や見えてきた課題などについてお話を伺います。

2012年1月21日(土)

13:00~17:00 (受付 12:30~)

☆プログラム☆

- 名古屋 NGO センターの被災地支援の仕組み紹介
- 参加 5 団体の活動報告
- 参加 NGO のディスカッション
- 支援活動の模擬体験

※参加 NGO は裏面をご覧ください

【会場】名古屋都市センター 特別会議室
(金山南ビル内 14 階・金山総合駅徒歩 1 分)
 【定員】70 名
 【対象】関心のある方ならどなたでも
 【参加費】無料

【申込み&問合せ】お名前、連絡先をメール又は電話にて下記までお願いします。



特定非営利活動法人 名古屋 NGO センター
 住所：〒453-0021 名古屋市中村区松原町 1-24 COMBI 本陣 N206
 TEL：052-483-6800 (火~土の 13 時~17 時) FAX：052-483-6801
 E-mail：info@nangoc.org ホームページ：http://www.nangoc.org

◆名古屋 NGO センターでは、被災者支援 NGO 活動募金を募集しています。http://www.nangoc.org/shinsai.html
 ◆写真提供：被災地で活動する当センター加盟 NGO ★本報告会は、三井物産環境基金の活動助成金で開催いたします。

参加団体

一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

活動拠点を仙台市に置き、若林区仙台港の物資倉庫では毎日多くの物資を配布しており、そこで被災者の話を聞き、心の相談に応じている。また、石巻市内、東松島市、亘理町では家屋の修理、泥出し活動を行っており、株式会社中京医薬品と協力し、孤独死防止のため仮設住宅へ「置き薬プロジェクト」を行っている。



NPO法人 イカオ・アコ

フィリピンでの NGO 活動のノウハウを活かして、宮城県気仙沼市・南三陸町・陸前高田市を中心に災害時乳児支援ボランティア活動を行なう『ピースジャム』（気仙沼の商店主による団体）を支援し、ウェブサイト募金やホームページ開設などを行っている。また、学生ボランティアが震災現地を 3 回訪問し、救援物資 100 箱を届けた。



NPO法人 ホープ・インターナショナル開発機構

宮城県の拠点より支援の届きにくいコミュニティ数か所に 500 トンを超える飲料水や食料、浄水器、自転車等の物資を届け、また憩いの場所として「ホープ・カフェ」を開催。現在は、経済基盤と生活基盤復興にも繋げるため、現地コミュニティや団体にヒアリングを行いながら、漁業再建、農業再建支援などを実施している。



NPO法人 レスキューストックヤード

宮城県宮城郡七ヶ浜町にボランティアの活動拠点を設置し、名古屋から継続的なボランティアパスの運行を行っている。また、仮設住宅の表札作成・取り付け、集会所での足湯・お茶のみ喫茶、在宅避難者の方の集まる場「名古屋カフェ」などの場所づくり、生きがい・仕事づくりを目的とした「ものづくり工房」などを町民の方と共に行っている。



NPO法人 チェルノブイリ救援・中部

原発事故を受け、スタッフとボランティアが福島県南相馬市を訪れた。放射能測定を行い、汚染マップを作成。生活線量の測定を開始。食品の汚染測定の準備を進めている。また、ウクライナの支援先より放射能測定器を援助いただき、被災地を中心に貸出しを行う予定。被害から人々を守るための実践とアドバイスを続けている。

